

# 平成29年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 平成30年2月2日（金）16：10～17：10

場 所 学校法人 北海道学院 鈎路専門学校 2階 医療的ケア演習室

出席委員 小野 信一 (鈎路市東部南地域包括支援センター センター長)  
諫山 邦子 (北海道教育大学鈎路校 教育学部 准教授)  
伊東 義光 (日本介護福祉士会北海道支部根鈎地区支部 支部長  
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)  
住尾 盛 (鈎路市PTA連合会 会長・地域住民)

出席職員 種市 司 (鈎路専門学校 校長)  
阿部 みつゑ (鈎路専門学校 副校長)  
氏原 陽子 (鈎路専門学校 こども環境科学科長)  
渡邊 千華子 (鈎路専門学校 介護環境科学科長)  
田仲 京子 (鈎路専門学校 こども環境科教員)  
杉村 典史 (鈎路専門学校 教務主任)  
若生 みゆき (鈎路専門学校 事務主任)

欠席者 洒井 恵 (鈎路市私立保育園連合会 会長・鈎路あさひ認定こども園 園長)  
工藤 映美 (鈎路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長)

配付資料 ○議案書（委員名簿・次第）  
○平成29年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録  
○平成29年度 自己評価結果  
○学校関係者評価資料（学校案内・募集要項・学生のしおり・学則）

1 開会挨拶（種市）

2 次第

(1) 司会者の決定

・小野委員が司会者に選出された

(2) 経過報告（種市）

(3) 前回議事録の確認（若生）

資料 平成29年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録 参照

(4) 平成29年度の学校関係者評価結果について

【説明・報告】

- ・学校運営の運営機能意思決定の部分、見直しが必要と考える。
- ・教育活動の教育課程の部分、介護・保育ともに平成31年度から大幅な見直しがある。
- ・教員研修で、職員の能力開発の為の研修の評価が低い。組織としての体制を整備する必要がある。
- ・教育相談の際に生活相談できたら良いと考える。
- ・卒業生への支援の評価が低い。現在は、卒業生からのアプローチがあつてからの支援になっている。
- ・教育環境、施設設備の部分が一番低い評価となっている。校舎施設の老朽化が目立ち、市に掛け合ってみるも、貸付は考えていないとのこと。

- ・防災に対する整備について、理事側に要求していきたい。
- ・財務について、職員が納得できる説明を求めていく。
- ・社会・地域貢献について、学生ボランティア、公開講座、自然再発見シリーズを今後も継続して行く。

### 【質疑応答】

#### 住尾委員から意見・質問

地域の人は、これだけの設備が学校にあるのを把握していないと思う。オープンキャンパスも対象は高校生だと思うが、小中学生等、対象を広げての告知は考えていないのか？

#### 学校側から回答（氏原）

中学校は年に数校、上級学校体験で受け入れを行っている。また、遊びのイベントを開催した際に、近隣の小学生を招待した。学校祭は、近隣のこども達も参加してくれる。

#### (渡邊)

上級学校体験では、介護・保育併せて体験してもらっている。充実した内容で提供できていると自負している。

#### 小野委員から意見

学生が発表できる場があると、学校の雰囲気を知ってもらえる。こどもの頃から興味を持つてもらえると思う。

#### 学校側から回答（氏原）

出前授業などでもアピールはしている。

#### 諫山委員から質問

オープンキャンパスの参加者対応は、学生がおこなっているのか？

#### 学校側から回答（氏原）

学生ボランティアを募ってお願いしている。先輩の声が直接聞ける機会になっている。

#### 諫山委員から質問

カウンセリングや健康管理等、学生は定期的に相談を受けられているのか？

#### 学校側から回答（渡邊）

看護師資格を持った教員がいるため、怪我等の緊急事態はすぐ対応できている。カウンセリングについては、悩み・困りごとがあれば、看護教員に限らず隨時対応している。

#### 諫山委員から意見

きめ細やかな対応をしていければ、退学等も少なくなると思う。

#### 学校側から回答（渡邊）

全学生に対して、学科を問わず全教員で関わっている。

#### 伊東委員から質問

自己評価の採点者は、外部講師も含まれているのか？外部講師は評価しないのか？

#### 学校側から回答（校長）

専任講師と事務職員で評価した。外部講師にも評価して頂きたいが、現在の評価項目だと難しいと思う。実施する場合、項目改善が必要。学生による学校評価があっても良いと考えている。

#### 伊東委員から意見

介護の日（1月11日）に道内の大型スーパーで、介護事業所および地域事業所が、市民にアピールする催しがあった。地域の専門学校のブースもあり、学生が発信できる場があると良いと感じた。また、学生の口コミは効果も高く、TV CM等よりコストがかからない。評価が上がると思う。

#### 小野委員から意見

3年後に、釧路専門学校開校50周年を迎えるが、同窓会等卒業生のネットワークを活用すると良いと思う。

#### 住尾委員から質問

今年度のオープンキャンパス参加状況は？

#### 学校側から回答（若生）

毎回違い、傾向が読めないところがある。

#### (校長)

遠方からの生徒に、交通費の支給を行っている。格安で宿泊できるホテルも用意している。

**諫山委員から意見**

社会貢献について、自然再発見での学生ボランティアベース設置などはどうか？

**学校側から回答（校長）**

若い人につながって行けば良いと思っている。

**諫山委員から質問**

研修について、どんなことに活用される為に参加しているのか？

**学校側から回答（校長）**

教員の資質向上を目的としている。そこにつながるものは、多忙でも積極的に参加して欲しいと考えている。

**伊東委員から質問**

人口問題について、市も懸念している。校舎を新築するのには費用がかかる為、釧路市の目玉になれないか？

**学校側から回答（校長）**

道東で唯一の介護福祉士養成校でもある。保育士養成についても市内で2校の内の1校。

**伊東委員から意見**

30～40代で、介護に魅力を感じ、初任者研修等の講習を受ける人が増加したように感じる。高等技専の委託生を大事にして欲しい。枠が増加すれば良いと思う。色々な職種を経験した方が介護職に就いてもらえるのも良いと思う。

**小野委員から意見**

例えば、どこか一部の設備に投資するなどしては？また、防災について訓練など行う場合、外部組織をどんどん活用して欲しい。

**閉会の挨拶（阿部）**

以上

(記録：若生)